



足立喜一郎  
イチハラヒロコ  
角野晃司  
北川貴好  
木村幸恵  
しりあがり寿  
谷山恭子  
渡辺英司

2014.3.22 sat. → 8.31 sun.

# 森の玉手箱

ミーツ・アート 彫刻の森美術館本館ギャラリー

## 展覧会概要

彫刻の森美術館は、1969年の開館当時より彫刻のための野外美術館として、彫刻芸術の振興をはかってきました。近代彫刻の歴史をたどることができる優品や多彩な現代彫刻の数々が箱根の山に集い、自然の美しさ猛々しさと融け合う場には、彫刻と自然と来館者との対話が生まれます。

一方で、1972年から現在まで東京・丸の内仲通りに展示する彫刻の監修を務め、“環境芸術”というコンセプトのもと、地方自治体や民間企業などとともに「芸術のあるまちづくり」に取り組んできました。2010年からは、神戸・六甲山を舞台にした彫刻の枠にとられない現代アートの展覧会『六甲ミーツ・アート 芸術散歩』を企画制作しています。

彫刻の森美術館では、2014年9月に『六甲ミーツ・アート 芸術散歩』が5周年を迎えることを記念して、第1～4回より選出した作家8名によるグループ展「ミーツ・アート 森の玉手箱」を開催します。開館当初からある井上武吉設計による本館ギャラリーと、その周りの空間を活かした展示を行います。“玉手箱”に見立てたギャラリーで、彫刻の枠にとられないユニークな作品が、奇想天外な世界へと導きます。



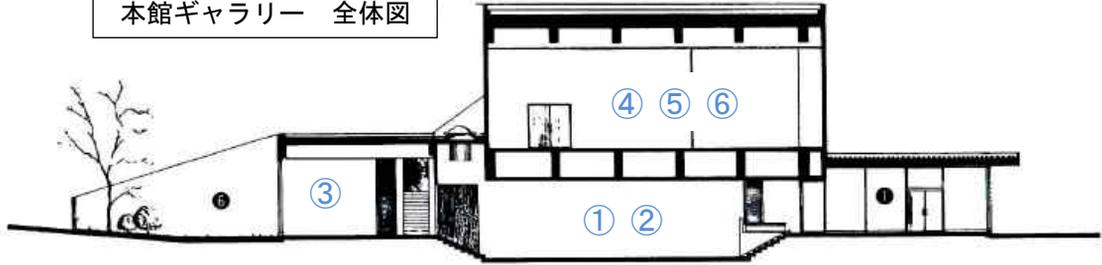
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」とは

神戸・六甲山で2010年より毎年9月から11月に開催されている現代アートイベント（主催：六甲山観光株式会社、阪神電気鉄道株式会社）。公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団が企画制作をおこなっています。展示場所は、六甲山上に点在する植物園やピクニックエリア、展望台などの野外と、ケーブル電車や駅舎、ホテル、オルゴールミュージアムなどの屋内で構成され、招待・公募・公演アーティストによる展示・公演をおこなっています。

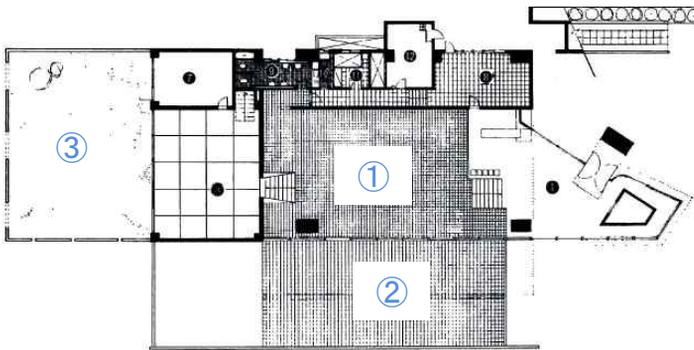
5周年を迎える今年は、9月13日（土）から11月24日（日）まで開催いたします。

## 本展の見所と展示構成（本館ギャラリー）

本館ギャラリー 全体図



本館ギャラリー 1階 中2階



### ① しりあがり寿（1階）

何かが回ると、それだけでそれは随分と存在の在り方を変えるものだということで、今回は沢山のだるまを回します。



出品作品イメージ図

### ③ 渡辺英司（中2階）

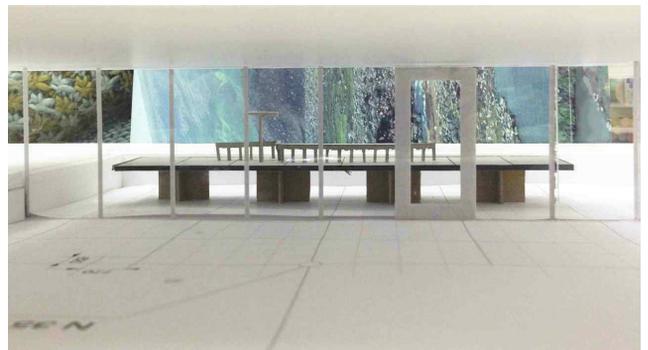
図鑑に記録された植物やキノコの写真をを使って図鑑庭園を作庭します。



参考図版  
「名称の庭／御園2010」あいちトリエンナーレ2010  
素材：図鑑、針金

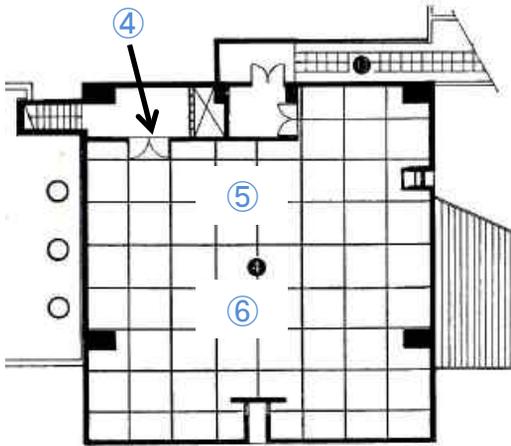
### ② 谷山恭子（1階ギャラリー正面テラス）

地面と同じ高さのテーブルに日付や名前を刻印し、フロッタージュして持ち帰ることができます。訪れた人々の存在感を蓄積する作品。



出品作品イメージ図

本館ギャラリー 2階



④ 木村幸恵 (2階入口)

テグスやサランラップのような、透明で軽い素材を使い、量塊を持たない、新たな身体観を表現します。



出品作品イメージ図

⑤ 北川貴好 (2階)

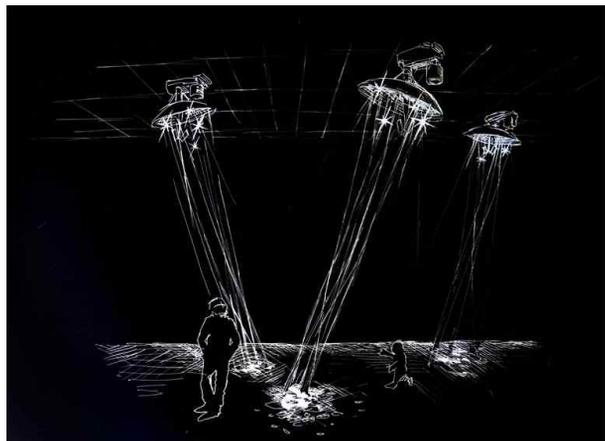
ギャラリー建築の光窓を本のなかの葉（しおり）に見立て、閉じられた建築世界と外の世界をつなぐ、『壁と床のランドスケープ』を立ち上がらせませす。太陽光などの映像と合わせて、内と外の新たな関係を提示します。



出品作品イメージ図

⑥ 足立喜一郎 (2階)

世界を測定する為の装置として、木漏れ日を発生させる装置を作り出します。



出品作品イメージ図

## 本展の見所と展示構成（屋外展示場）

### ⑦ イチハラヒロコ（本館ギャラリー前）

大きなキューブに言葉を記したランゲージアートを展示します。



参考図版  
自分の鼓動で走れ。  
東京ミッドタウン 2013年 撮影ノ木奥恵三

### ⑧ 足立喜一郎（本館ギャラリー前）

世界を測定する為の装置として、命の重さを測る天秤を本館ギャラリー前に展示します。



LIFE BALANCER no.01  
六甲高山植物園 2013年

### <期間限定>

### ⑨ 角野晃司（屋外展示場）

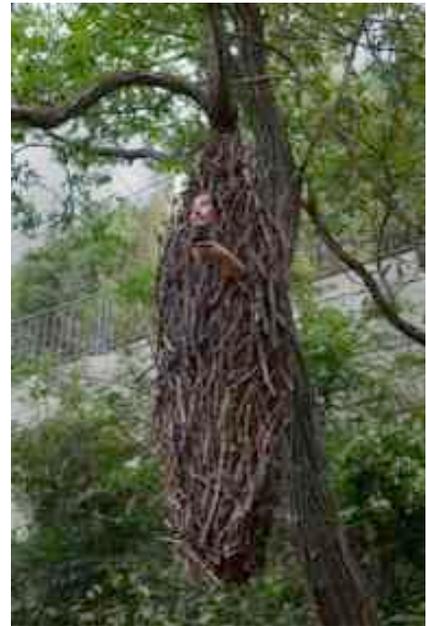
蓑虫なう

日程

5月2日（金）～5月6日（火・休）

8月9日（土）～8月13日（水）

蓑虫として閉じこもりながらも、ツイッターを通じてコミュニケーションを図ります。自然回帰と情報社会。どちらも必要とする生活を露わにします。



蓑虫なう  
六甲オルゴールミュージアム 2010年

**足立喜一郎**  
Kiichiro ADACHI

1979年 大阪府生まれ、東京を拠点に活動  
2004年 多摩美術大学美術学部環境デザイン学科卒業

2010年 釜山ビエンナーレ2010「Living in Evolution」(韓国)  
2011年 「Trans-Cool TOKYO」(シンガポール美術館・台北市立美術館などを巡回)  
2013年 個展「never die」(hpgrp gallery、東京)

**イチハラヒロコ**  
Hiroko ICHIHARA

1963年 京都府生まれ、京都市在住  
1985年 京都芸術短期大学ビジュアルデザイン科専攻修了

2001年 横浜トリエンナーレ(横浜)  
2005年 愛と孤独、そして笑い(東京都現代美術館)  
2013年 プレイルーム。イチハラヒロコ・箭内新一(京都国立近代美術館)

**北川貴好**  
Takayoshi KITAGAWA

1974年 大阪府生まれ、東京都在住  
1999年 武蔵野美術大学建築学科卒業

2008年 黄金町バザール(神奈川)  
2010年 せんだいメディアテーク開館10周年全館プロジェクト(せんだいメディアテーク/宮城)  
2013年 北川貴好「フロアランドスケープ - 開き、つないで、閉じていく」(アサヒアートスクエア/東京)

**角野晃司**  
Koji KAKUNO

1978年 静岡県生まれ、東京都在住  
2004年 武蔵野美術大学造形学部建築学科卒業

2010年 六甲ミーツ・アート 芸術散歩2010(11)(六甲山/兵庫)  
2011年 ふくやまアート・ウォーク2011(福山城周辺/広島)  
2011年 神戸ビエンナーレ2011(ポーアイしおさい公園/兵庫)

**木村幸恵**  
Sachie KIMURA

1975年 北海道生まれ、東京都在住  
2001年 武蔵野美術大学大学院修了

2002年 アート・スカラシップ 南條史生 部門(エギジビットLIVE/東京)  
2009年 第一回所沢ビエンナーレ(西武鉄道旧車両倉庫/埼玉)  
2012年 個展「クリスタル・キャノピー」(應典院/大阪)

**しりあがり寿**  
SHIRIAGARI Kotobuki

1958年 静岡県生まれ、現在主に東京で制作  
1981年 多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業  
1985年 単行本『エレキな春』で漫画家デビュー

2006年 フランスアングレーム漫画祭 日本×画展(横浜美術館/神奈川)  
2011年 ブリキの方舟(広島市現代美術館)

**谷山恭子**  
Kyoko TANIYAMA

1972年 愛知県生まれ、東京都在住  
1996年 武蔵野美術大学造形学部大学院修了

2009年 越後妻有トリエンナーレ2009(新潟)  
2012年 ART RINK 2012(神奈川)  
2013年 瀬戸内国際芸術祭(香川)

**渡辺英司**  
Eiji WATANABE

1961年 愛知県生まれ、名古屋市在住  
1985年 愛知県立芸術大学彫刻科卒業

2001年 出会い(東京オペラシティ アートギャラリー)  
2007年 笑い展：現代アートにみる(おかしみ)の事情(森美術館/東京)  
2010年 あいちトリエンナーレ2010(愛知芸術文化センター/名古屋 愛知)

## 展覧会情報

- 【展覧会名】 ミーツ・アート 森の玉手箱  
【会 期】 2014年3月22日（土）～8月31日（日）
- 【会 場】 彫刻の森美術館 本館ギャラリー（一部、屋外展示場）  
（〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121）
- 【開館時間】 9：00～17：00（年中無休・入館は閉館の30分前まで）
- 【休 館 日】 なし（年中無休）
- 【入 館 料】 大人1,600円 / 大・高校生1,200円 / 中・小学生800円  
※2014年3月31日まで、大人1,600円 / 大・高校生シニア（65歳以上）1,100円 / 中・小学生800円
- 【交通案内】 箱根登山鉄道「彫刻の森」駅下車、徒歩2分
- 【主 催】 彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団）
- 【後 援】 フジサンケイグループ
- 【協 賛】 六甲山観光株式会社
- 【協 力】 art space kimura ASK? / 株式会社キーテック / 株式会社造景社  
クーパービジョン・ジャパン株式会社 / 国際ディスプレイ工業株式会社
- 【出品点数】 21点（予定）

### 《会期中のイベント》

#### 角野晃司 「蓑虫なう」

##### 日程

5月2日（金）～5月6日（火・休）

8月9日（土）～8月13日（水）

作家自ら等身大の蓑虫に扮し、館内の樹にぶら下がりながら会話をしたり、  
ツイッターを利用して現状をつぶやき、来館者とのコミュニケーションを  
図ります。



蓑虫なう  
六甲オルゴールミュージアム  
2010年

### 【プレスリリースお問い合わせ先】

プレスリリースの詳細および画像貸出や取材などのご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。

彫刻の森美術館 広報担当：辻井

〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町二ノ平1121

TEL:0460-82-1161 / FAX:0460-82-1169

E-MAIL: press@hakone-oam.or.jp